

経営比較分析表（令和6年度決算）

大阪府岸和田市 岸和田市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	33	対象	透I 訓ガ	救臨が地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
186,596	30,575	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
400	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	400
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
356	-	356

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和6年度全国平均

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

- ①高度急性期、急性期病院として、24時間365日体制で救急医療を実施。また、輪番制で小児救急医療を実施。
- ②国指定の地域がん診療拠点病院として、専門的で質の高いがん医療を提供。
- ③地域医療支援病院として、地域医療連携の強化及び地域医療の充実化を図っている。
- ④臨床研修・専門医研修病院として、初期研修医と専門医養成を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は100%を下回っており、類似病院平均値も下回っている。給与費や材料費などの費用が増加したが、診療収益が減少したことが主な要因である。

病床利用率は紹介患者受入枠の増加を実施し、昨年度より微増したが、類似病院平均値を下回っており、新型コロナの影響を受ける前までは回復していない。

1人1日当たり収益は入院外来とも類似病院平均値を上回った。診療単価を上げるために症状が安定した患者の逆紹介を推進し、紹介患者を受け入れる体制を構築したことが主な要因である。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は減少したが、平成8年度に新病院開設してから28年が経過しているため、類似病院平均値を上回っている。高度専門医療を提供するため積極的な投資をしていることから、器械備品減価償却率は減少しており、類似病院平均値も下回っている。

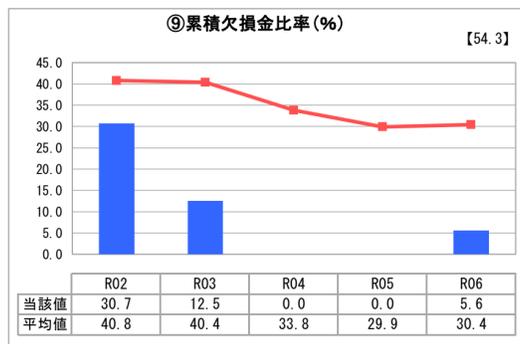
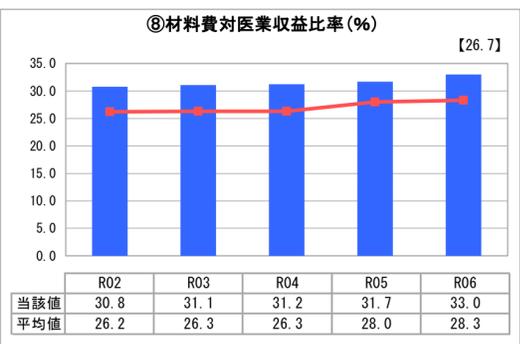
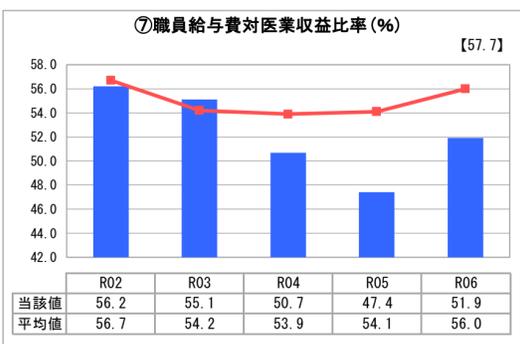
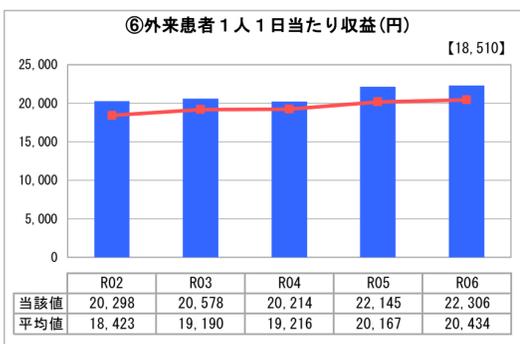
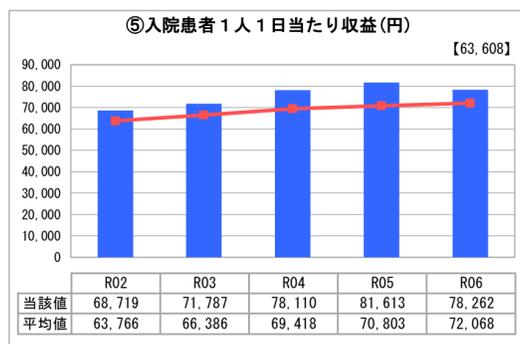
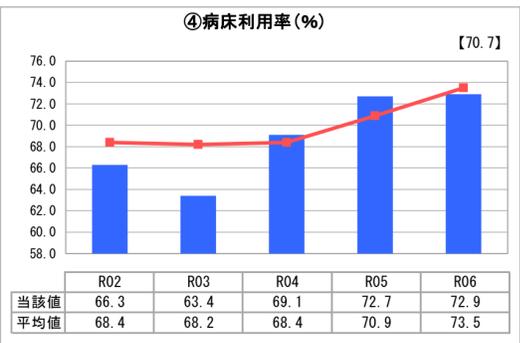
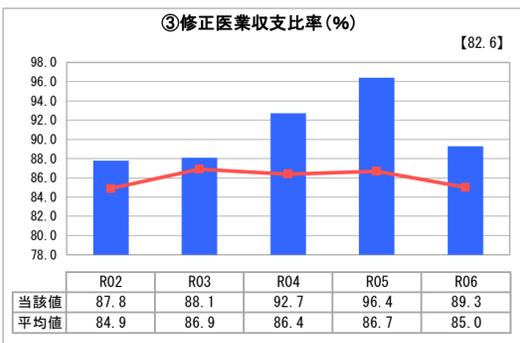
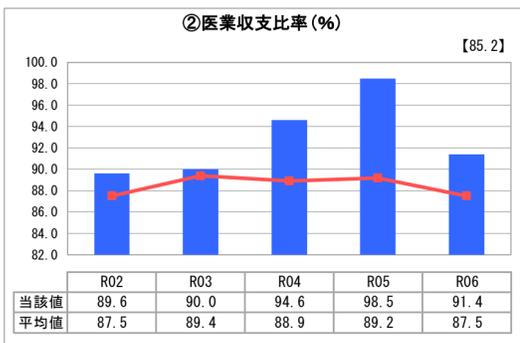
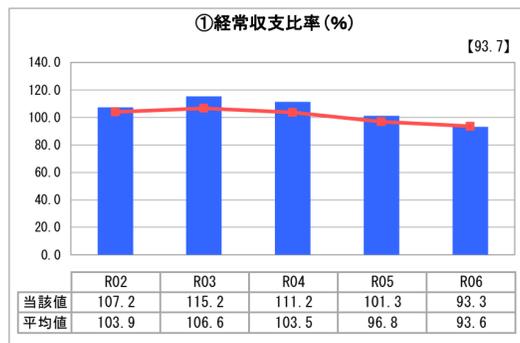
1床当たり有形固定資産額は増加しており、高度専門医療を提供するための積極的な投資をしていることから、類似病院平均値も上回っている。

全体総括

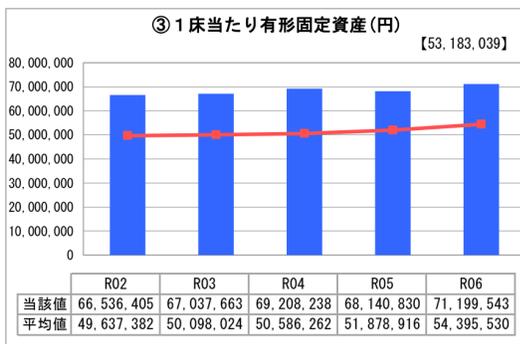
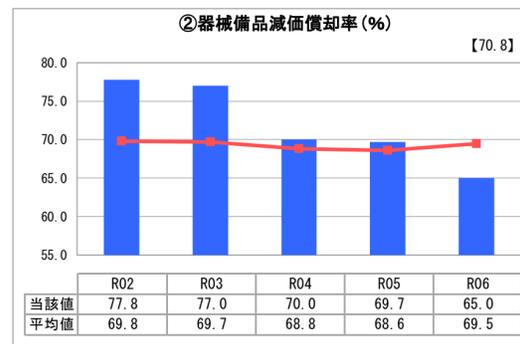
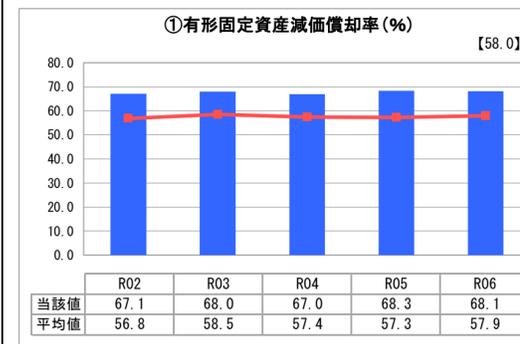
令和6年度決算は、昨今の賃金上昇や物価高騰の影響により給与費や材料費などの費用が増加したが、患者数は新型コロナの影響を受ける前までは回復せず、診療収益が減少したことで、経常収支比率、医療収支比率とも前年度を下回り、赤字経営となった。地域医療機関からの紹介を積極的に受け入れ、病床利用率を黒字経営していた新型コロナの影響を受ける前の水準（80%）まで回復させることを目標にし、医療収支比率を上げていく。

また、類似病院平均値と比較して施設設備の老朽化が進んでいることから、緊急性や必要性を勘案し、企業債借入計画の適正化と合わせて、計画的に投資を行っていくことが必要である。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。